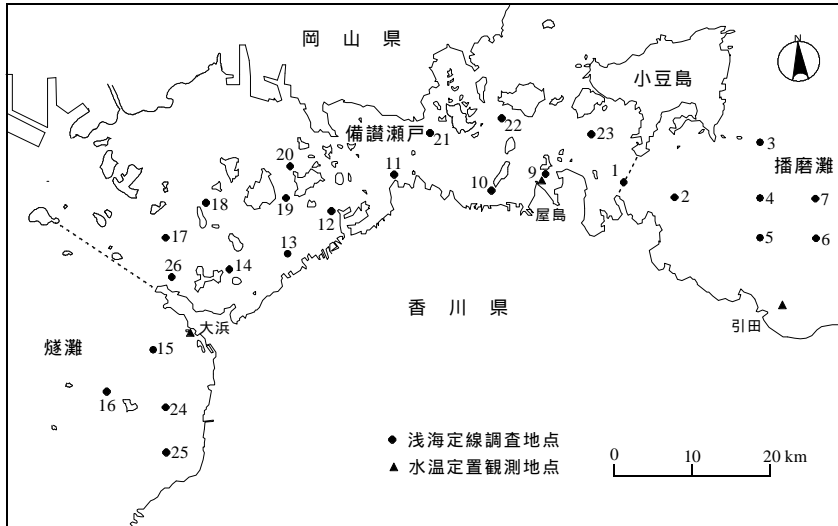


香川県漁海況速報 平成18年 1月 (H17-10号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成18年 1月10日 (播磨灘), 6日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「かなり低めからやや低め」、塩分は「やや高め」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「やや高めからかなり高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	11.0	11.0	11.0	33.2	33.2	33.2	8.3	6.23	6.18
	平年値	12.5	12.4	12.4	32.5	32.5	32.5	7.7	5.96	5.92
	平年偏差	-1.4	-1.4	-1.4	0.7	0.7	0.7	0.6	0.27	0.26
	状況	かなり低め	かなり低め	かなり低め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや高め	やや高め
備讃瀬戸	14地点平均値	10.9	10.8	10.8	33.4	33.4	33.4	4.3	6.35	6.29
	平年値	11.9	11.8	11.8	32.6	32.6	32.6	5.6	5.96	5.97
	平年偏差	-1.0	-1.0	-1.0	0.8	0.7	0.7	-1.3	0.39	0.32
	状況	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	かなり高め	かなり高め
燧灘	4地点平均値	11.3	11.3	11.2	33.4	33.4	33.4	4.9	6.25	6.16
	平年値	12.5	12.5	12.6	32.8	32.8	32.9	7.5	6.05	5.93
	平年偏差	-1.2	-1.2	-1.3	0.6	0.5	0.5	-2.6	0.20	0.23
	状況	かなり低め	かなり低め	かなり低め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや高め	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

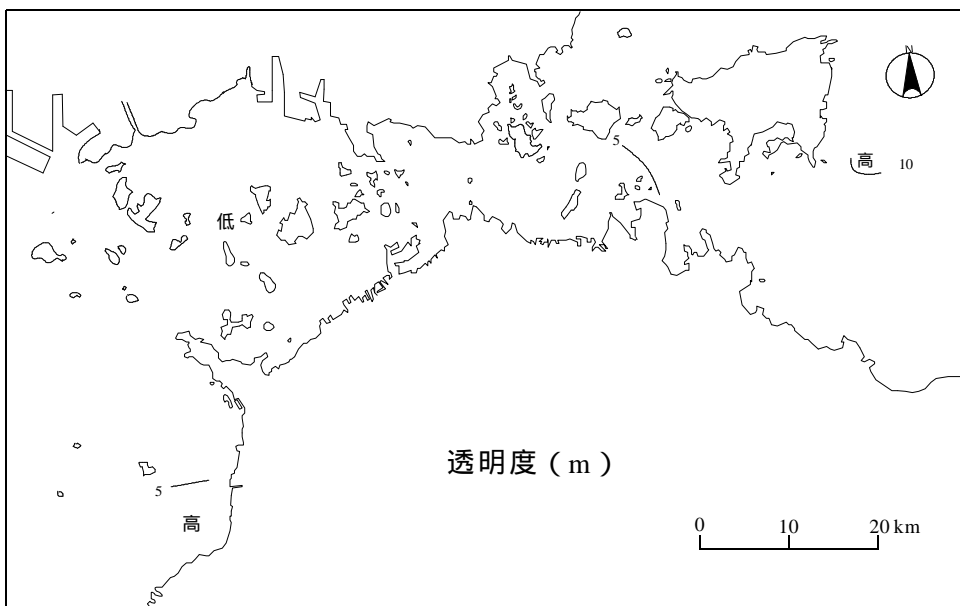
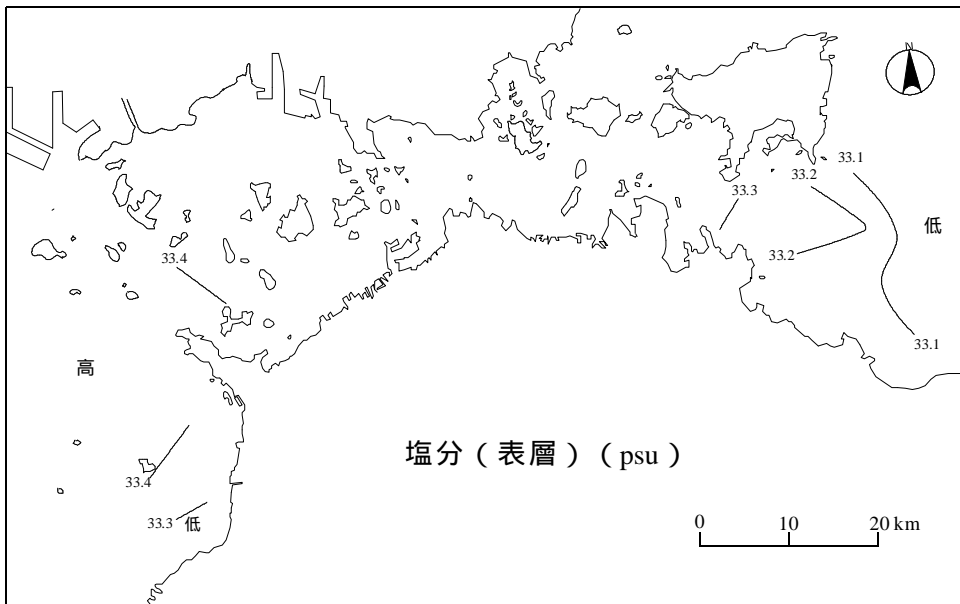
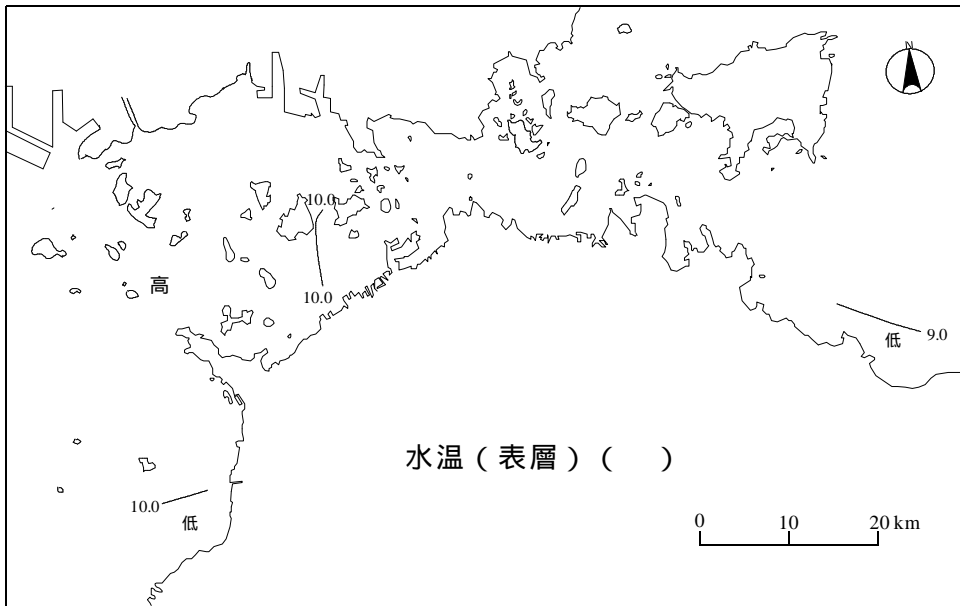
平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和48年(1973)1月~平成13年(2002)12月

溶存酸素: 昭和48年(1973)2月~平成13年(2002)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



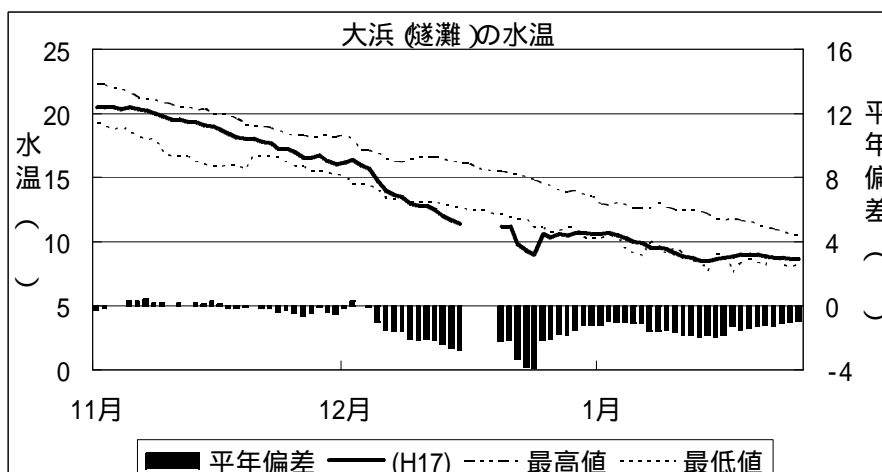
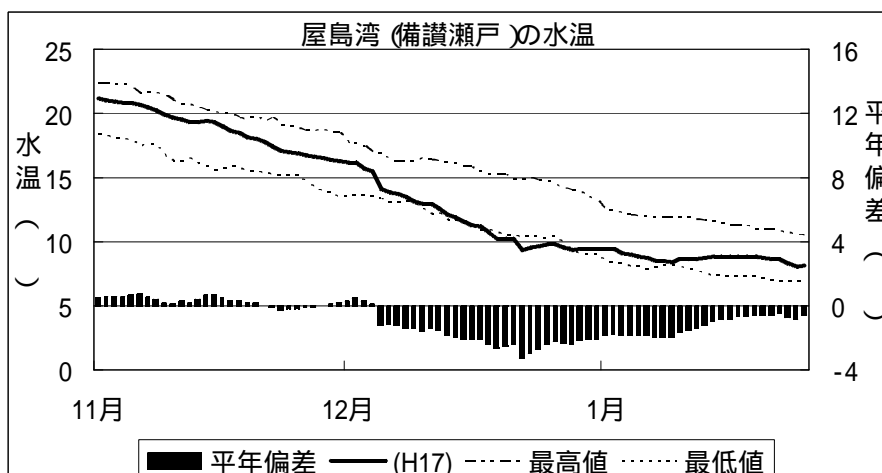
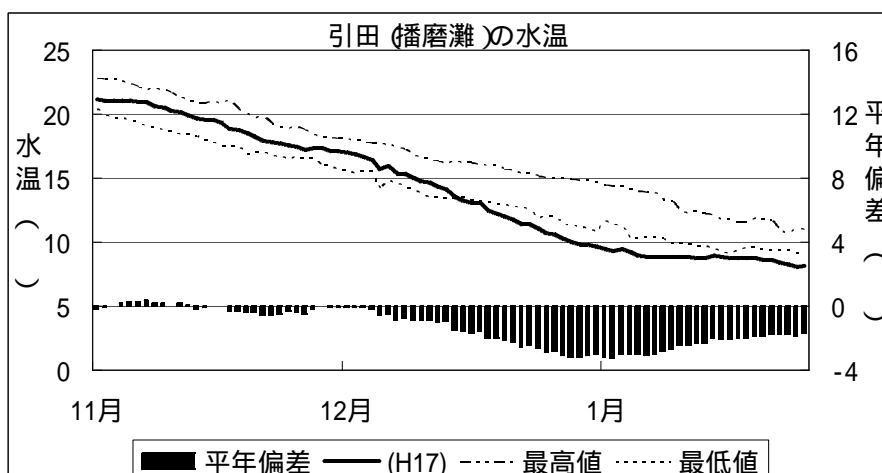
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 12月に入り5日から寒波により急激に低下し、1月上旬には平年偏差が-3.3近くまで低下した。その後偏差は小さくなり中旬からは-1.8前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 12月に入り5日から寒波により急激に低下し、下旬には平年偏差が-3.3近くまで低下した。その後偏差は小さくなり1月上旬は-1.9前後、中旬は更に小さくなり下旬には-0.6前後で推移している。

燧灘(大浜): 12月に入り5日から寒波により急激に低下し、下旬には平年偏差が-4近くまで低下した。その後偏差は急に小さくなり1月に入り-1.3前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成16(2004)年
屋島: 昭和50(1975)~平成16(2004)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
備讃瀬戸：発生なし。
燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成18年 1月10日（播磨灘），6日（備讃瀬戸，燧灘）

出現量 個（尾）/曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.13
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	13.07
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.25
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11	8.52

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	0.0%	-	0.0%
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%
燧灘平均	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総平均	-	0.0%	0.0%	0.0%

- 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成16（2004）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成16（2004）年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現量はなかった。

2. 漁況

12月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網は主にウシノシタ類，スズキ，メイタガレイ，イイダコが漁獲されている。小アナゴも獲れだした。 建網ではマコガレイ，ナマコ類が漁獲されている。 ます網ではマコガレイ，スズキが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類，メイタガレイ，イイダコ，小型エビ類，スズキ，マアナゴが漁獲されている。 中讃・高松沖の12月のタイラギ潜水器漁業は悪天候が多かったため，出漁日数は少なかったが，漁獲量は前年並みの100～150 kg/隻・日であった。
燧 灘	底びき網では主に小型エビ類，メイタガレイ，スズキ，フグ類，ウシノシタ類が漁獲されている。